

京都オパールと漆
ふたつの出会いが生み出す

「彩輝光」



大町憲治
KENJI OMACHI

- 1978 京都市立日吉ヶ丘高校美術工芸コース 卒業
- 1981 日展、京展('85市長賞受賞)、全関西美術展('93開展賞受賞)
- 1982 日本新工芸展、彦根市美術展(特選受賞)
- 1993 京都工芸美術作家協会展('94奨励賞受賞)
- 1997 滋賀県美術展('00特選受賞)
- 1999 The Gen-Foundation財団(奨学支援受賞) イギリス&フランス研修留学
Paris: Louvre Museum(漆工芸品調査)
- 2000 大津市美術展('02特選受賞、大津市教育委員長賞受賞)
- 2004 The Gen-Foundation First presentation evening in LONDON
- 2005 京都伝統工芸大学校 総合工芸絵画コース講師
- 2006 平和堂財団 新進芸術家美術展(芸術奨励賞受賞)
第18回工芸美術「創工会展」(京都工芸賞:京都新聞社賞受賞)
- 2007 朝日現代クラフト展(招待出品)
- 2008 The Gen-Foundation財団(奨学支援受賞) ロンドン&上海研修
- 2009 APEC JAPAN2010横浜会場 彩輝光作品依頼出品
- 2011 EL PUENTE-架け橋- 日本、イタリア、ベネズエラ交流展(福岡市美術館)
洛式meets彩輝光基盤 京都デザイン賞(京都府庁旧本館)
- 2013 「現代茶湯アワード式O吉参」アワード男茶部門(ダンディー部門)金賞受賞

艶

やかな蒔絵の表面には
青、橙、黄など見る角度により、さまざまな輝きが
浮かび、磨き上げられた漆の艶とオパールの輝きは、
高貴で華やかな印象をまとう…

大町憲治氏は蒔絵にオパールを用いた独自の漆工芸作品
を生み出し、長年にわたって制作を続けてきました。

古来、蒔絵には貝殻の内側に光る部分を薄く剥いだ「螺鈿^{らでん}」
が用いられてきましたが、貝殻を京都オパールにおきかえた
独自の手法は、螺鈿では表現できない多彩で華やかな発色
の蒔絵を実現させました。

漆工芸の長い伝統の中に、新しい要素を盛り込んだ数々の
作品は、伝統工芸の分野に新たな地平を切り拓くものでは
ないでしょうか。

本展では、大町氏の手により漆工芸と京都オパールを融合
させた新しい蒔絵の世界をご覧くださいませ。

彩輝光【さいきこう】

漆工芸作家「大町憲治」が創始考案した漆工芸の新技法。
伝統的漆工芸技法の一種である「螺鈿:らでん」を応用して制作される。
この螺鈿の技法をヒントに京都オパールを用い、細かく細分化された京
都オパールをモザイクのように意図したデザインで付着させ、上塗り
した漆を研ぎ出す事でオパール独特の遊色効果を漆工芸作品の表現
に活かした手法。
京都に代々受け継がれて来た伝統的な工芸技術と新しい技術による
新素材が高度な美意識の中で融合された新工芸です。



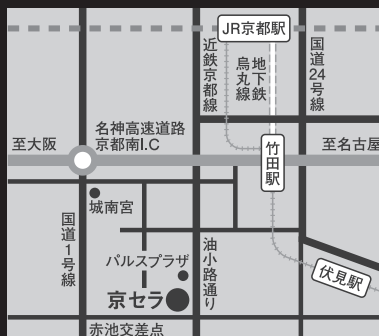
京都オパールは、天然宝石と同じ組成構造の宝石用オパールと、製造
過程で天然には無い特別処理を施し広く加飾用途にも対応可能とした
京セラ製の人工オパールの総称です。

京セラ美術館

THE KYOCERA MUSEUM OF ART

〒612-8501 京都市伏見区竹田鳥羽町6 京セラ本社ビル1階
TEL 075.604.3500(代表)
<http://www.kyocera.co.jp/art/>

〔主催〕京セラ美術館



交通案内

- ①近鉄京都線または市営地下鉄 烏丸線
「竹田駅」(北駅舎)西口より、バスに乗り換え、「パルスプラザ前」下車すぐ(竹田駅よりバスで約5分)
- ②京都駅八条口から直通バス「京都らくなんくすエクスプレス」に乗り、「京都パルスプラザ・京セラ前」下車、徒歩1分。
※「京都駅八条口」から「京都パルスプラザ・京セラ前」まで所要時間約15分。